

# 報告 第1号

## 各路線におけるコミュニティバスの利用状況について

### 【資料】

資料1 各路線におけるコミュニティバスの利用状況について

### 【説明】

各路線とも日平均利用者数について、今年度はコロナ前の水準には回復していないものの、概ね前年度の利用者数を上回っていましたが、12月、1月と再び減少傾向となり、前年度と同程度の水準となっています。

6ページの萩の台線及び西畑・有里線の買い物先の利用状況については、両路線とも業務スーパーバス停において、5月のルート変更時から減少傾向が見られ、特に萩の台線は大きく減少しています。

なお、萩の台線については、利用者の声を聞くなどの簡易調査を計画していましたが、コロナ感染拡大傾向が続いていることから実施を見送りました。本年6月には実績を評価し、その後、対応案を検討していくこととしていますので、今後は簡易な調査ではなく地区全体の需要調査等を検討し実施していきたいと考えています。

# 報告 第2号

## 市内路線バスの現状と課題について

### 【説明】

この度、奈良交通株式会社様から、市内路線バスの現状について報告がありました。

人口減少、少子高齢化、また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、市内の重要な移動手段であるバスネットワークがこれまでにない危機的な状況となっており、収支改善が喫緊の課題であるとお話でした。このことは本協議会においても大変重要な課題であることから、来年度において集中的な議論をお願いしたいと考えています。